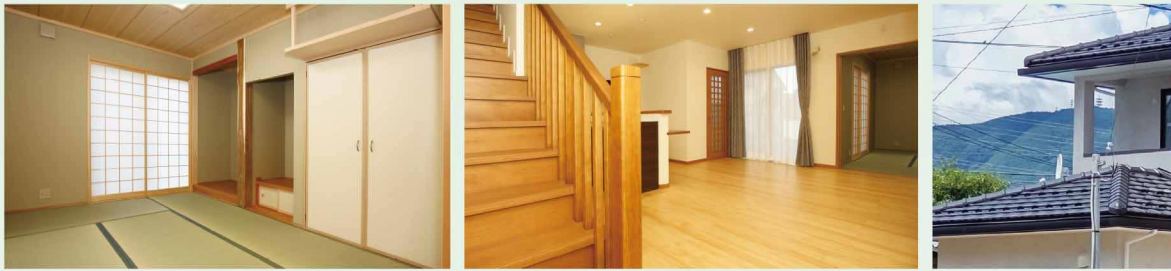
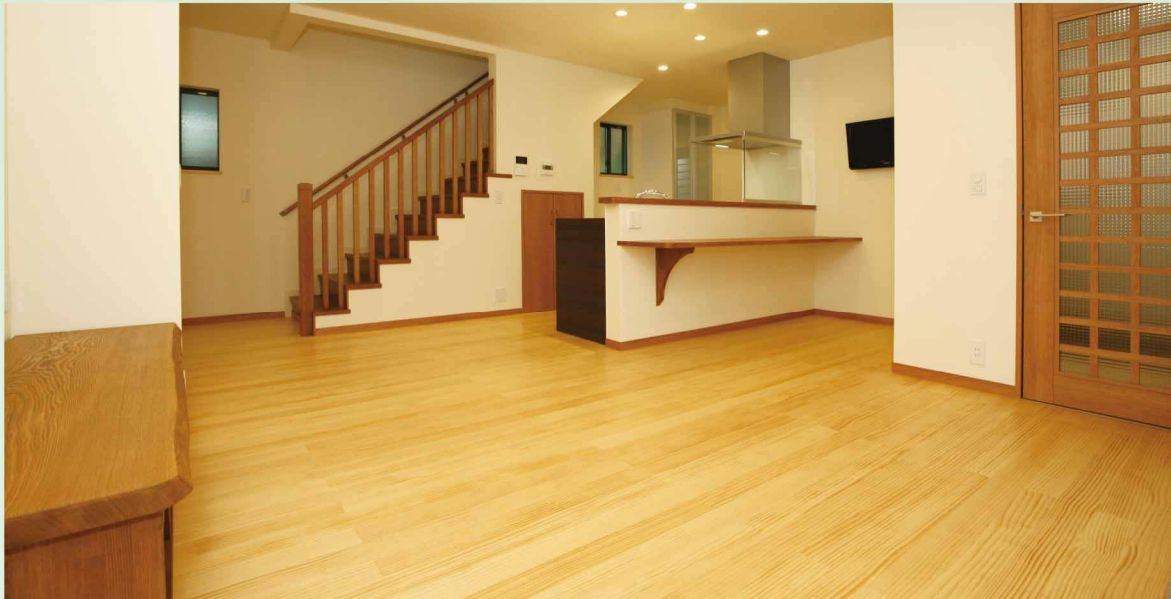


呼吸する自然素材を体感できる「本物の木の家」見学会



夏でも自然な涼しさを体感

最新の省エネ基準を満たした高気密高断熱住宅でも、エアコンを使用しないと輻射熱により、屋内が高温になりがちです。

自然な涼を体感するためには、湿度コントロールと呼吸する自然素材が重要なポイントなのです。

「呼吸する断熱材と火山灰の外壁のおかげで、猛暑の日でもあまりエアコンをつけなくても、家中がひんやりしている感覚です。」

「特に夜の寝苦しさはほとんど感じません。」と、お住まいになられたお客様から多くのご感想が寄せられています。

室内の空気の違いを体感

完成見学会に来場されたお客様からのご感想で、共通するキーワードは「木の香りがする」「空気が澄んでいる」「新築特有の匂いがしない」などがとても多いです。

——春原木材の健康&自然住宅の真の目的は、「シックハウスから家族を守る」こと——

有害物質が発生する工業製品を極力使わず、昔ながらの安全な自然素材と厳選された国産材を適材適所に生かしています。塗装は木の呼吸を妨げないドイツ製の自然塗料で仕上げ、静電気が起きづらく、調湿の効果があります。自然素材クロスは優れた通気性により、結露やカビの発生を抑えてくれます。

ぜひ見学会で空気の質を感じてください。

自然素材の心地よさを体感

無垢の床材は素足で触れた時にやさしく、弾力性に富み、夏はひんやり、冬はほんのりとぬくもりを感じられます。

炭入り健康畳は炭の効果で、生活臭を取り除き、カビ・細菌・ダニの発生を抑えて、清潔な環境を維持してくれます。

収納内部は調湿効果のある無垢板なので、除湿剤・防虫剤が不要です。布団・衣類は毎日肌に触れるものだから妥協しません。日々の暮らしで木の香りが楽しめます。



「ライフテリア」春原木材がつくる高齢化社会対応住宅



高齢化社会が進み、人生100年の時代。身体の衰えにより、誰もがやがて生活に変化が生じます。健康な今だからこそ、時間を経ても暮らしやすさが備わった家づくりを検討するべきかもしれません。春原木材はお客様の年齢に関わらず、高齢化を見据えた生涯設計をします。廊下・階段の幅、手すりの位置、段差のないバリアフリーなど、「転ばぬ先の杖」に配慮したライフテリア(高齢化社会対応住宅)は、これからの家づくりに欠かせない条件の一つです。

「現在も将来も考えた住まい設計」

何年経っても、誰もが暮らしやすいと感じられる家づくりを、さまざまな設計の工夫で実現します。

■床の段差を、できる限りなくす

家庭内で起きる事故のほとんどの要因は段差によるものです。高齢になるほど、小さな段差でつまずきやすくなります。基本的なアイテムです。



■身体を支える手すりを設ける

生活する上での移動・動作を補助するのに手すりがあると安心。玄関・階段・浴室・トイレに設置します。「転ばぬ先の杖」と言えるでしょう。



■出入り口の幅に、ゆとりをもたせる

出入り口を広く取れば、腕や体がぶつからなくなり、ケガを防ぎます。将来の車イスへの対応や介護への備えにも有効です。



■温度差の少ない、健康的な家にする

冬のヒートショック、夏の熱帯夜は、高齢者には身体へのダメージが大きいです。呼吸する断熱材や自然素材で、澄んだ空気と温度度のバリアフリーを実現。



■室内を明るく、見やすくする

加齢とともに、視力は衰えてきます。上がり框に照明を設置したり、見やすいように色を変えて、段差を認識しやすくする工夫をしています。

■ユニバーサルデザインの器具を採用する

ドアノブやスイッチ・照明・水栓などは、わかりやすく操作が楽なものを選びます。イスに座って使える洗面台は、足腰の負担を軽減してくれます。

■生活動線を考慮したゾーニングにする

高齢者になると、日常の生活動線が短いほど快適に暮らすことができます。就寝時を考えると寝室とトイレの距離を近づける配慮が必要です。

永く快適さが続く家づくりを追求します

年齢や性別に関係なく、誰もが「その時」を快適に暮らす家づくり。将来の高齢化や家族構成に備え、未永く快適に暮らすことができる春原木材の家づくりは、バリアフリーの工夫を取り入れたライフテリア(高齢化社会対応住宅)で提案します。



TEL.026-278-4111

ホームページ <https://sunohara-kinoie.jp>

〒381-1222 長野市松代町豊栄6414-5

30年後に後悔しない家づくり 50年経っても安心して暮らし 続けられる住まいとは？

健康&自然住宅



■3会場同時開催

骨組・断熱見学会

8月28日(土)・29日(日)

午前10時～午後5時



あなたの家の見えない部分がどんなふうになっているか、ご存じですか？
床・壁・天井などのインテリアには関心があっても、
その裏側まではあまり考えないというのが普通かもしれません。
でもほんとうに大切なのは、
その家がどんなしくみでできているかということ。
人まかせにしない家づくりは、まず家のしくみ、
そして何故そのようになっているかを
知ることから始めましょう。

家づくりにおいて一番大切なこと。それは構造・強度・耐久性です。
それにより家の寿命が大きく異なります。30年後に後悔しないためにも、
家を建てる前に必ず一度は、骨組を見て、知っておくことが必要です。

建て替えか？ リフォームか？ 迷っているあなたへ!!

無料
建物診断
受付中

外装はもちろん、屋根裏・床下まで隅々を診断いたします。
一級建築士など専門家によるプロ集団が施工の状況、腐食や
痛み具合をチェックして総合的な報告書を作成いたします。
見学会場へお越しの方は、建物無料診断をその場でお申込み
いただけます。



●新型コロナウイルスの対策として、会場内で密接しないために入室制限
のお願いをすることがあります。
※マスク着用でのご来場、手指のアルコール消毒、手袋の着用をお願い
など、詳しくはお問い合わせください。

見えなくなるから大切なもの

住宅はどのような部位で構成されているのでしょうか。
基礎・土台・柱・梁・・・など、
それぞれはどんな役割を果たしている
のかを、見学会では、わかりやすく解
説いたします。

すじかい・間柱に国産ヒノキを用い
ています。ヒノキの特長として伐採直
後から木質繊維が硬化し、その作用が約
200～300年まで続き、強度や剛性が約
30%増加します。ヒノキを主要な部位に
使う理由は、見えなくなる部分の劣化を
抑え、住まいを長持ちさせるためです。



呼吸する断熱材

見えない部分で壁体内結露は発生してしまいま
す。しかし「呼吸する断熱材」セルローズファイバー
は湿気を吸ったり吐いたりして、自然に室内の空気
をゆっくりとコントロールしてくれます。壁体内部
に発生した結露を吐き出すことにより、カビや腐食
を未然に防ぎ、家の骨格となる構造体をやさしく守
り続けます。

「呼吸する断熱材」が持つ調湿性に加え、心地よさ
の秘密は「容積比熱」にあります。セルローズファイ
バーは、容積比熱がグラスウール16Kの約7.7倍
も優れているため、その蓄熱性の高さから室内まで
外気温が及ぼす影響が少なくなるのです。

見学会場にて「呼吸する断熱材」の施工途中をご覧
いただけます。
(千曲市内川会場)



家の「かかりつけ医」を持つという発想から生まれた 長期50年保証システム「サポート50」

※構造耐力性能と防水性能を50年間長期保証するものです。

健康な身体を保つには、治療だけでなく、体調管理のアド
バイスをしてくれる「かかりつけ医」の存在が大切です。

快適で丈夫な住まいを永く保つためにもこの発想は不可欠。
建物ごとの特長をしっかりと把握しながら、適切なアドバ
イスとメンテナンスをする仕組みが、春原木材にはあります。

長期50年保証システム
を採用していただくと、
ライフサイクルコスト
(生涯費用)が大幅に削減
できます。

未来へ伝える木のぬくもり
株式会社 春原木材

TEL.026-278-4111
〒381-1222 長野市松代町豊栄6414-5

ホームページ
<https://sunohara-kinoie.jp>



裏面もご覧ください。見学会の情報満載です。